

国際交流センター ニュースレター

2012年度前期 短期留学生修了式

【8月1日（水）・講堂】

昨年（2011年）の秋に本学に特別聴講生（短期留学）として来日した留学生の留学期間が終了し、帰国を前に、修了証書授与式が行われた。当日は、冒頭、許斐センター長より修了証書の授与があり、その後教職員より祝辞、最後に留学生による日本語のスピーチで締めくくられた。来日当初は全く日本語の

できなかった留学生も式では流暢な日本語を披露してくれた。一年間、それぞれの留学生が多くを経験をし、充実した留学生活になったことは、留学生業務に携わっている教職員一同、非常にうれしく思っているところである。



目次：

2012年度前期 短期留学生修了式	1
ドイツ語研修	4
韓国研修	6
インターナショナル C アワー	8
今後のスケジュール	8

旅行した時、たくさんの人に知り合えたり、教科書の中に記載されていない知識も得られました。また、旅行の途中で助けてくれた人に感謝します。北見ありがとう！ さよなら北海道！

余建毅
(台湾・勤益科技大学・3年)



私の日本語は最初全然聞き取れなかったのですが、今、普通の会話が問題なくできるようになりました。優しく親切で、素晴らしい先生たちのおかげで、私の北見での生活が楽しく過ごせました。

斯琴塔娜
(中国・内蒙古大学・M1)

日本に来て、住む環境の良さと人々のマナーを守ることに對して一番感心させられました。人々は礼儀正しくて、とても親切だと感じました。

魏塔娜
(中国・内蒙古大学・M1)



この一年間で、各国の色々な友達を作りました。みんなで一緒に日本語の授業を受け、一緒に食事をして、一緒にチャットし、一緒に遊びに行ったりして、楽しかったです。

季光輝
(中国・武漢科技大学・3年)



あきらめないうで日本語の勉強を一生懸命に頑張りました。その結果、今は日本語で自分の感情を表現したり、言いたいことをはなせるようになりました。

鄭民教
(韓国・江原大学校三陟キャンパス・3年)



私は、北海道とフィンランドの自然がとても似ていることにびっくりしました。友達とは毎週一緒にスノーボードをしました。楽しかったです。

アリラ アルト ヨハネ
(フィンランド・オウル総合科学大学・3年)



学生の思い出

私の専門は橋梁ですから、橋が大好きです。毎回、研究室の建設現場の見学に先生が連れて行ってくれました。色々な日本の進んだ技術を理解することができました。とても貴重な経験でした。

彭晶蓉
(中国・武漢科技大学・M1)

去年の10月に初めて温泉に入りました。日本の温泉のマナーと台湾の温泉のマナーはちょっと違ったので、はじめて日本の温泉に入った時は本当に恥ずかしかったです。

簡巧雯
(台湾・中国医薬大学・3年)



雪祭りに参加して、雪像をいっぱい見ました。以前にただテレビでは見たことがあったのですが、今回は自分の目で見る事ができて、とても感動しました。

顧家豪
(台湾・中国医薬大学・3年)



私のチューターは素晴らしい人です。一緒に私たちは多くの経験をしました。私は彼なしでは留学生生活を満喫することはできなかったと思います。北見での生活はとても楽しかったです。

ボヒヨスアホ・ベッカ
(フィンランド・オウル総合科学大学・4年)

印象深いことは北海道の素晴らしい環境です。綺麗な景色や森や温泉など、どれもよかったです。特に、北見の近くにある屈斜路湖と阿寒湖と摩周湖は、すごく素晴らしいと思いました。

林政璇
(台湾・中国医薬大学・3年)



教職員祝辞

許斐センター長

留学を経験し、1人1人が世界が求めるグローバル人材の1人です。そのため、世界は皆さんの活躍を待っています。今までの経験を活かし、これからはがんばってください。ただし、どんなにがんばっても、がんばっているときの「楽しさ」を忘れないでほしいです。1人1人が異なる環境で、知らない国で、それぞれの目標に向かってがんばった留学生の皆さん、修了本当におめでとうございます。これからの新たなスタートをされる皆さんのこれからのご活躍を北見よりお祈りします。そして、またいつか北見でお会いできたら嬉しいです。おめでとうございます！



小野副課長

「私は日本語しか話せない」と言ったため、国際交流センターに私が1人していると、初めのうちそのまま帰ってしまう学生もいましたが、最近は、一生懸命日本語で話しかけてくれるようになり嬉しかったです。4月たってやっと顔と名前が覚えられたのに、お別れは残念ですが、帰国してからもがんばってください。



鈴木講師

留学で得た数々の経験を、国際社会の中で生かして行ってください。また、留学を通して知り合った友人を大切に、末永い付き合いをして行ってください。



末繁講師

ご卒業おめでとうございます。私は今年5月に赴任したため、3ヶ月という短い期間でしたが、皆さんと野外活動に参加したり、日本語の授業をさせて頂いたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。皆さんの日本語の上達ぶりにもとても感動しました。ここで学んだことを生かし、これから世界でご活躍されることをお祈りしております。



尾山講師

ブータンでは、お茶にハエが入ったとき、「大丈夫？」と聞かれるそうですが、その人がブータン人であれば、お茶が大丈夫かという意味ではなく、ハエが大丈夫かという意味だそうです。このように、皆さんも優しい人間になってください。



ドイツ語研修 ～ 参加学生の声

【8月9日（木）～31日（金）フライブルク大学】

機械社会環境系 1年
朝倉 裕二

今回の語学研修は毎日がとても充実していました。言葉もあまり通じない自分の知らない町を散策することはとても楽しかったです。見るものすべてが新鮮で興味深いものでした。ほかに町全体を使ったワイン祭りやさまざまなイベントがあり楽しかったです。テレビやニュースなどでしか知らなかったドイツの文化や歴史にも直接ふれることができとても有意義な夏休みを過ごすことができました。ぜひ皆さんも参加してみたいはいかがですか？



情報電気エレクトロニクス系 1年
石田 伸彦

このドイツ語学研修では、様々な経験をすることができました。まず、授業はドイツ語と英語のみの授業で若干戸惑いはありましたが、凄くいい雰囲気だったので全く苦にはならずドイツ語を学ぶことができました。授業以外では、各地の観光名所を巡り、ドイツの文化を肌で感じ、さらには隣国などに旅行したりと様々な体験ができました。この経験を活かしこれからもっと自分の視野を広げていきたいと思っています。



機械社会環境系 1年
猶原 有希子

今回、私がJSPに参加したきっかけは、高校時代のマレーシアへの渡航経験でした。日本とは全く違う環境で、ぎこちない英語しか話せず、言葉の壁を感じ、異文化の中に暮らす人ともっと話したいと強く思ったこと。また、文化そのものにも感動し、もっと知らない世界を自分の目で見たいと感じたこと。これが参加する決意に繋がりました。

実際にドイツでは、大学でネイティブの先生との対話式の授業や、ドイツの経済や環境問題に関する講義を受けたり、ドイツ文化にふれるレクに参加したりと、非常に充実した日々を過ごしました。感心と感動の連続で、改めて、外国語の習得に力を入れたいという意欲が湧きました。

JSPを通して、様々な出会いもあり、このプログラムに参加できて心から良かったと思っています。JSPに関わるすべての人に感謝したいです。



バイオ環境化学科 2年
松田 考平

私は、ドイツ語学研修期間を通して言語の異なる人との意思疎通の難しさや、文化の違いにと四苦八苦し続けた二十日間でした。最初うまくコミュニケーションをとれるか心配でした。しかし、片言の英語で人種の異なる人と話した時や、ドイツの人たちとサッカーをした時、みんな気さくない人ばかりでそんな気持ちもすぐに消えてしまいました。

この研修を通じて外国に興味がいってきて機会があれば、また参加したいと思いました。



バイオ環境化学科 3年
渡部 大気

私が、このドイツ語学研修に参加しようと思ったのは、語学の勉強のほかに環境対策が進んでいるドイツに行ってみて、その国の雰囲気や文化に触れてみたいと思ったのがきっかけでした。

実際に行くとドイツの環境対策は日常生活にも垣間見えて、こんな何気ないところにも環境への対策がされているんだなあ、と学ぶことがたくさんありました。このように語学だけでなく様々な経験や体験をすることができました。このドイツ語学研修はとても充実した3週間でした。新しくできた友達と毎日のように遊んだこと、ドイツ人や学生の人と話したこと、異国の文化や空気にふれたことなど、日本では絶対にはできないことをたくさんすることができました。それによって、自分の物事に関する考え方や価値観も大きく変わりました。この変化や経験は、自分の今後の選択や将来に絶対に役立つことなのでずっと大事にしていきたいし、ずっと忘れることはないと思います。



バイオ環境化学科 3年
川村 稜

私が今回ドイツ、フライブルクへの語学研修に参加した理由は、ヨーロッパに行ってみようということと、自分が学んだことのないドイツ語をこの3週間でどのくらい話することができるようになるかをためたかったからです。実際にドイツに行ってみると、平日毎日ドイツ語の授業をするので、少しずつではありますが、ゼロからスタートのドイツ語でとても簡単ではありませんが、会話をすることができるようになりました。また、ドイツの人は英語がとても上手で、自分のあまりできない英語でもコミュニケーションをとることができました。しかし、ドイツの人と話していて、自分の伝えたいことが伝えられないという悔しさはこれから語学をもっと勉強しようという強い気持ちに変わりました。語学力の重要性と大切さが分かった瞬間でした。

また、ドイツの文化を学ぶことができたことも大きな経験になりました。例えば、スーパーでペットボトルを回収するとき25セントかえってきます。このように、環境に気を配っていることが分かりました。フライブルク大学では、ドイツの人、他の日本の大学の人が大勢いるので、コミュニケーションの力が上がります。是非皆さん参加してください。



社会環境工学科 4年
竹田 誠也

私は、8月9日から8月30日までの約3週間、ドイツのフライブルクでの語学研修に参加しました。ドイツ語の授業では、生徒たちが街へ出かけ、様々なお店へ行き、授業で習ったドイツ語で質問したりする課外授業なども行われ、とても楽しく学ぶことができました。週末には、個人的に観光に行ったりもしました。普段は経験できないことがたくさんでき、刺激的でとても楽しい3週間でした。

韓国研修

【8月20日（月）～25日（土）韓国江原大学校三陟キャンパス】



本学の国際交流協定締結である韓国・江原大学校三陟キャンパスの招待により、現地において研修が実施された。実施に至った経緯は、本学から先方大学へ日本人学生の留学が未だ実現しておらず、今後留学への足掛かりになればとの厚意によるものである。研修には、韓国留学を検討中の5名の学生と引率教員1名の計6名で参加し、約1週間の充実した研修が行われた。学生たちが現地において感じたことなど、学生達の報告書の一部を抜粋して紹介することにする。

学生感想

久保田 早貴

（バイオ環境・マテリアル系1年）

私はこの韓国交流研修に参加して、普段の生活では知れないことをたくさん学ぶことができました。交流ワークショップでは各大学2人ずつ自らの大学と住んでいる地域について紹介しました。学生の視点から説明してもらうことで、カンウォン大学校のことやサンチョク市についてよくわかりました。また、カンウォン大学校の副学長と食事をしたり、みんなで温泉・

サウナに行ったり、自由時間には韓国の学生と交流したりしてとても充実していました。また、本場の韓国料理がとても辛かったのもいい思い出です。この研修に参加する前は、日本と韓国の歴史や外交問題から不安もありましたが、実際に行ってみると学生も先生方もみんな親切な人ばかりで安心しました。友達もたくさんできたので、また韓国に行ってみたいと思っています。



久保田 真伍

（電気電子工学科2年）

今回の訪問では韓国の学生が通訳として常に一緒にいてくれて通訳してくれました。それから、北見工業大学に興味をもって留学を考えている工学部の学生の3人の男の子とも一緒に過ごしました。価値観の違いや言語の違いで衝突することもありましたが、毎回ご飯を一緒に食べたり、ゲームしたり、いろんな体験をともにすることで仲良くなれたと思います。僕はこの5日間の韓国研修で行ったなかで初めての体験がほ

とんどでした。3日目にサンチョクの観光、4日目に海洋スポーツ体験を行いました。スキューバダイビングは5mのプールで行いましたがとても怖かったです。呼吸を行えるものをつけていたのですが海猿のようにはいかないとおもいました。僕は今回の研修を通じて韓国での留学もいいなと思うようになりました。観光ではこんなにも韓国を楽しめなかったと思います。この研修は大学生活の大切な思い出になりました。



杉西 幸恵

（バイオ環境化学科2年）

私がこの研修に参加した理由は、去年私はドイツに行き、海外の文化や人に触れることに大変興味をもち、いろんな国に行ってみたく思ったからです。この研修では韓国のたくさんの学生と交流することができました。三陟（サンチョク）大学に通っている学生3人と5日間一緒に行動し、またその大学には日本語学科があったため私たちより上手に日本語を話す学生たちと韓国や日本のことについて色々話しまし

た。また、三陟の観光や温泉も大変面白かったです。ルールの上を自転車みたいなもので走るルールバイクや鍾乳洞をみにいきました。鍾乳洞はモノレールみたいなもので洞窟まで行きそこから神秘の世界でした。私は前に鍾乳洞を見たことがあったのですがそれ以上に美しかったです。また現地の人がその美しさを自然のままの形で残していこうという配慮も見られたので大切なことだと感じました。このようにたくさんの人にいろんなところに感動しているんなことを感じてほしいと思います

吉田 一生
(バイオ環境化学科2年)

私が研修中に一番強く感じたのは、どんな国に住んでいても人間性が大切であると感じました。歴史の認識など確かに違うことは確かにたくさんありますが、大きく考えて韓国人と私たち日本人を隔ているものは、互いの使う違う言葉であり、言葉という壁をなくせば人間同士の関係になります。外国人だからとか、日本人ではないからとか、そういうことではないのだなと感じました。研修中ずっと日本語を勉強し

ていた学生もいました。部屋のホワイトボードには英語と日本語がたくさん書かれていました。何かに対する一生懸命さは魅力的に見えました。明るさや笑顔は言葉が通じなくても私を楽しませてくれました。それは日本で生活していても同じことが言えると思います。普段の生活がそのまま現れるなら外国や外国人にそこまで違和感を持つ必要はないとも思いました。こういう街もあるのかと、こういう人もいるのかと受け入れれば良いと思います。



岡崎 大樹
(機械工学専攻1年)

私がこの研修に参加した理由は、以前から自分の育った国とは違う環境である海外に興味があったので時間のある学生のうちに他の国に行ってみたかったというもの、また韓国を選んだ理由は自分の所属する研究室に韓国からの留学生が来ていて彼の国の話を聞いていたことが挙げられます。副学長との面会と食事の際には韓国語での自己紹介を求められ、前日の夜に日本語を勉強しているサンチョクの学生と練習した成果もあり、かたことながら話すことが出

来ました。その後日本語を勉強している学生たちと自分たちによるお互いの街や大学紹介の交流会ではより多くの学生と話すことができ、楽しかった反面自分の語学能力の低さも実感しました。今回の研修では初めてのことが多くまた、言葉は完璧に話せなくともジェスチャーを加えればなんとか通じるということも分かり、自分にとっていい経験になり、初めての海外が楽しいものになりとてもいい思い出になりました。ぜひ機会があれば他の国にも行ってみたいと思います。

日程表	
1日目	出国
2日目	キャンパスツアー、副総長表敬訪問、交流ワークショップ
3日目	サムチョク市内・市外視察
4日目	海洋スポーツ体験
5日目	ソウル市内視察
6日目	帰国



インターナショナル“C”アワー

【8月2日（木）インターナショナルラウンジ中庭】

8月のCアワーは、毎年恒例の“流しそうめん”と“スイカ割り”に加え、新たに“フィンランドのゲーム”が実施された。当日は、肌寒い中、多くの留学生と市民が一同に集い、楽しい一時を過ごしていた。“流しそうめん”は留学生皆初体験で、我が先とそうめんの取り合いも行われていた。その後のスイカ割り、フィンランド学生作製のゲームも非常に好評で、参加者一人一人が心に残るひと夏の思い出を作れたのではないだろうか。



学生コメント

①アンティ（フィンランド・短期留学生3年）

私と他の二人のフィンランド人（ベッカとアルト）は、フィンランドのゲーム「Mölkky（モルック・ボーリングに似ているゲーム）」のピンを作って、この夏のCアワーで取り入れてもらいました。誰もがこのゲームに興味を示し、最初は簡単そうに考えていたものの、実際はそれほど簡単なゲームではなかったのです。最初は、ピンに当てるのが簡単だったものの、ピンとピンの距離も広げられ、また投げる位置からも遠ざかっていきました。また、投げたモルックが地面で不規則にバウンドし、ゲームをより盛り上げてくれました。参加者全員がこのゲームに興味を持ってくれ、また楽しんでくれたことに作ったものとして喜びを感じました。作製中の私達のハードワークと蚊に刺されたことも無駄ではありませんでした。

②曹贏（ソイ）（中国・医療工学専攻D2）

一ヶ月に一回のCアワーがやっと来ました。今回のテーマは流しそうめんでした。2010年に短期留学の時、用事があったので、今年は期待している気持ちを持って参加しました。さすが人気のイベントでした。留学生だけではなく、一般市民も大勢集まっていました。皆そうめんなどを食べたり、フィンランドのゲームをしたり、初対面の人とも交流したりしました。国際交流センターの皆さんのおかげで、今回のイベントもとても楽しめました。

今後の予定

10月	1日（月）	後期授業開始 オリエンテーション（短期・正規留学生）
	15日（月）	留学生歓迎会
	27日（土）	オホーツク国際ふれあい広場
11月	12日（月）	インターナショナル“C”アワー
	18日（日）	カーリング体験イベント
	21日（水）～22日（木）	工場見学
	23日（金）	お好み焼きパーティ（OFIC）
	27日（火）	海外留学報告会（総合工学II）
12月	18日（火）	インターナショナル“C”アワー ～インターナショナル・コンサート～
	12月20日（木）～1月6日（日）	冬季休業日



国際交流センターニュース2月・3月号
Vol. 88 2012年7月発行
発行所：北見工業大学国際交流センター
〒090-8507北見市公園町165

TEL 0157-26-9370 FAX 0157-26-9373